No.GHS-0093

製品安全データシート

製品名 ベースオイル

作成日 2011 年 6 月 9 日
改訂日 —

1 製品及び会社情報

製品名	ベースオイル
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の電話番号	075-691-4125
整理番号	No.GHS-0093

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	—

危険有害性情報 —

注意書き

安全対策	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 使用前に取扱説明書を入手すること。 この製品を使用する前に、飲食または喫煙をしないこと。 個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。 換気の良い場所で使用すること。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
応急措置	飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断/手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。 皮膚刺激があれば、医師の診断/手当てを受けること。
保管	施錠して保管すること。

廃棄	内容物/容器を関連法令に基づき(国際/国/都道府県/市町村の規則を含む)廃棄すること。

3 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分	単一製品
化学名(一般名)	ポリアルファオレフィン

成分名	含有量	化学式(構造式)	官報公示整理番号(化審法・安衛法)	CAS No.
ポリアルファオレフィン	100%	C_nH_{2n+2}	6-1109	68037-01-4

分類に寄与する不純物及び安定化添加剤	添加剤中には規制対象物質や特定有害物質は含まない。

4 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。 吐かせないこと。 口をすすぐこと。
応急措置をする者の保護	ゴム手袋と密閉ゴーグルなどを着用する。

5 火災時の措置

消火剤	火災の場合は泡/粉末/炭酸ガス/乾燥砂/霧状の消火液を使用する。
使ってはならない消化剤	注水は火災を拡大し危険な場合がある。
火災時の特定危険有害性	火災によって刺激性、有毒または腐食性のガスを発生する恐れがある。 加熱により容器が爆発する恐れがある。
特定の消火の方法	周辺火災の場合は安全な場所に移送する。移送が不可能な場合は散水冷却によって容器の温度上昇を防ぐ。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消化剤などを用いて空気を遮断することが有効である。 火災の種類に応じて適切な消化剤を用いる。 周辺火災は関係者以外立入禁止とする。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

6　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	適切な保護衣を着用していないときには破損した容器や漏洩物を触れてはいけない。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 適切な保護具を着用する。 風上に溜まる。 低地から離れる。 密閉された場所に立入る前に換気する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	環境中の放出してはならない。 漏出防止の措置をする。 製品が下水・河川・海域に流出しないように処置する。
回収、除去	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止法	関係者以外は近づけない。 危険でなければ漏れを止める. 漏出物を取扱う時に用いる全ての設備は設置する。 蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる 全ての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、花火や火災の禁止） 排水溝、下水溝、地下水あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	ミストまたは蒸気の発生する場合は発生源の密閉化、または換気装置を設ける。 この製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。 空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。 高温工程でミスト、ガスが発生する時は、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 容器に過度の衝撃を与える、転倒させる、落下させる、または引きずるなどの粗暴な扱いをしない。 接触、吸入または飲み込まないこと。 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 換気の良い場所で使用すること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。

保管

技術的対策	消防法の規定に従った技術的対策をとる。 保管場所には危険物を貯蔵し、または取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
適切な保管条件	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。 施錠して保管すること。 貯蔵時最高最低温度は-10℃～60℃
避けるべき保管条件	直射日光を避け、密栓し換気の良い冷所に保管すること。 酸化剤から離して保管すること。
安全な容器包装材料	ガラス等

8　暴露防止及び保護措置

設備対策	ミストまたは蒸気の発生する場合は発生源の密閉化、または換気装置を設ける。 この製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。 空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。 高温工程でミスト、ガスが発生する時は、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
管理濃度	作業環境評価基準に記載なし。
許容濃度（暴露限界値）	
ACGIH　2008	TVL-TWA 5 mg/m^3（鉱油ミストとして） TVL-STEL 10 mg/m^3（鉱油ミストとして）
日本産業衛生学会　2008	3 mg/m^3（鉱油ミストとして）
保護具	
呼吸器の保護具	防毒マスク（有機ガス用）着用する。
手の保護具	状況に応じて、耐油用保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。
皮膚及び身体の保護具	状況に応じて、耐油製長袖作業服を着用する。

9　物理的及び化学的性質

物理的状態	無色透明の液体
臭い	無臭
pH	データなし
融点・凝固点（℃）	データなし
沸点（℃）	データなし
引火点（℃）	238℃以上　（PM、密閉式）
発火点（℃）	データなし
燃焼または爆発範囲	データなし
蒸気圧	133.322Pa　（20℃）以下
蒸気密度（空気=1）	データなし
比重（密度）	0.83　（15.6℃）
溶解性	0.1%以下
オクタノール／水分配係数	データなし

分解温度	データなし
粘度	5.7～6.1mm^2/s （100℃）

10　安定性及び反応性

安定性	常温で安定である。
危険有害性反応可能性	自己反応性、酸化性、自然発火性、爆発性はない。
避けるべき条件	強酸化剤との接触を避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	不完全燃焼により一酸化炭素を生じることがある。

11　有害性情報

急性毒性

経口、経皮、吸入毒性

（経口）	ラット	データ不足のため、分類できないとした
（経皮）	ラット	データ不足のため、分類できないとした
（吸入）（蒸気）	データなし	
（吸入）（ミスト）	データなし	

皮膚腐食性・刺激性	継続的または繰り返しの接触により、軽度の皮膚荒れを起こす場合があるが、データ不足のため、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に対しては、軽微な刺激性を示す可能性があるが、データ不足のため、分類できないとした。
呼吸器感作性または皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性−単回暴露	データなし
特定標的臓器・全身毒性−反復暴露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12　環境影響情報

移動性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
生態毒性	データなし
水生環境急性有害性	データ不足のため分類できない
水生環境慢性有害性	データ不足のため分類できない

13　廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14　輸送上の注意

国際規制

国連番号(UN No.)	分類基準に該当しない

国際規制

陸上規制情報	規制なし
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。可燃性で有害な液体に関する一般的な注意事項による。 容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15　適用法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
水質汚濁防止法	施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条 (ノルマルヘキサン抽出分として検出される)
海洋汚染防止法	施行令別表第 1 有害液体物質(X 種)
化学物質管理促進法(PRTR 法)	該当しない
消防法	法第 2 条危険物別表第 4 類引火性液体:第 4 石油類: (指定数量)6000L 危険等級Ⅲ
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)
下水道法	施行令第 9 条(ノルマルヘキサン抽出物質含有量 5mg/L)

16　その他の情報

引用文献

GHS 対応 MSDS・ラベル実務早分かり(社団法人　産業環境管理協会)
製品安全データシート　10-B-6291013　PAO601(新日鐵化学株式会社)

記載内容の問い合わせ先

担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4125
FAX 番号	075-691-9536

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料および文献を調査したものではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。また、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、充分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上